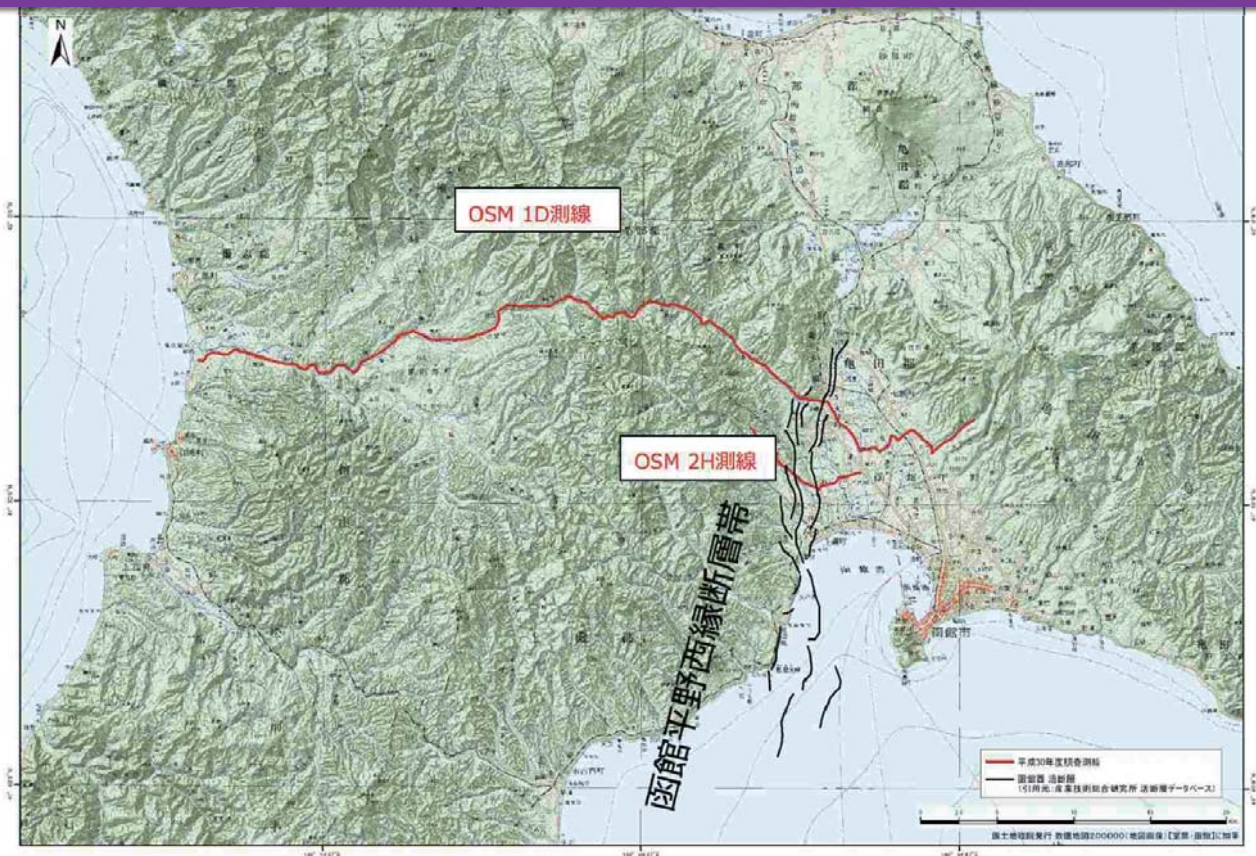


2-3 沿岸海域および海陸統合構造調査 陸上区間

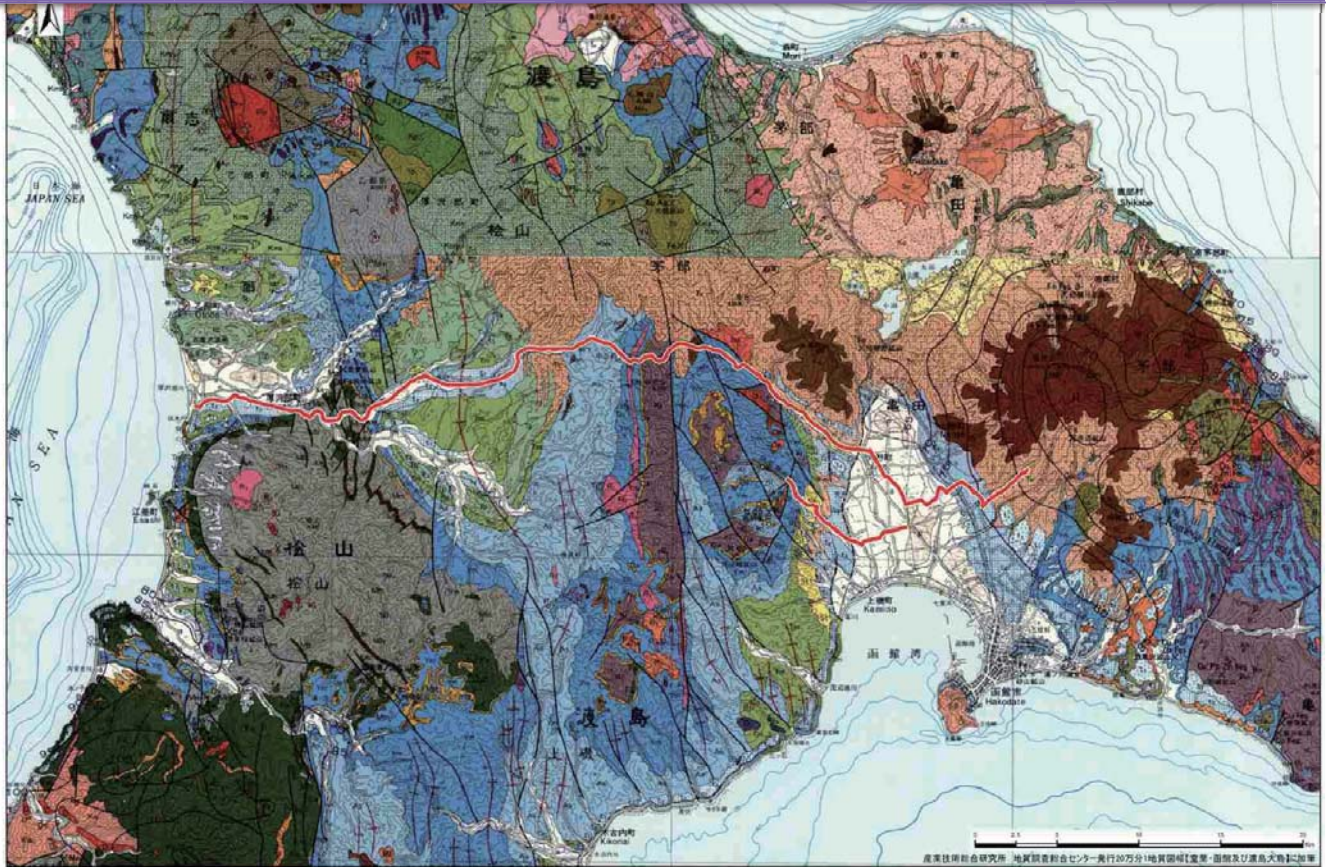


東京大学地震研究所

平成30年度「渡島半島横断地殻構造探查」



H30 渡島半島横断地殻構造探査 地質図+測線図



産総研地質調査総合センター発行20万分の1地質図(室蘭・函館及び渡島大島)に加筆

H30 渡島半島横断地殻構造探査 データ取得仕様

長測線

測線長: 54 km

発震系

震源: 大型バイブレータ 4-5 台

スウィープ周波数 6 ~ 60 Hz

スウィープ長: 20 秒

標準発震点: 150 m, 集中発震 5km

一箇所での発震回数: 8~12 回

総発震点数 323

受振器

受振器 10 Hz

展開パターン 固定展開 1119 ch

受振点間隔 50 m,

観測器 GSX, GSR (独立型)

サンプリングレート 4 ms

記録長 8 秒

観測モード

高分解能測線

8km

1 台

10 ~ 100 Hz

16秒

10 - 20 m間隔

3 回

643

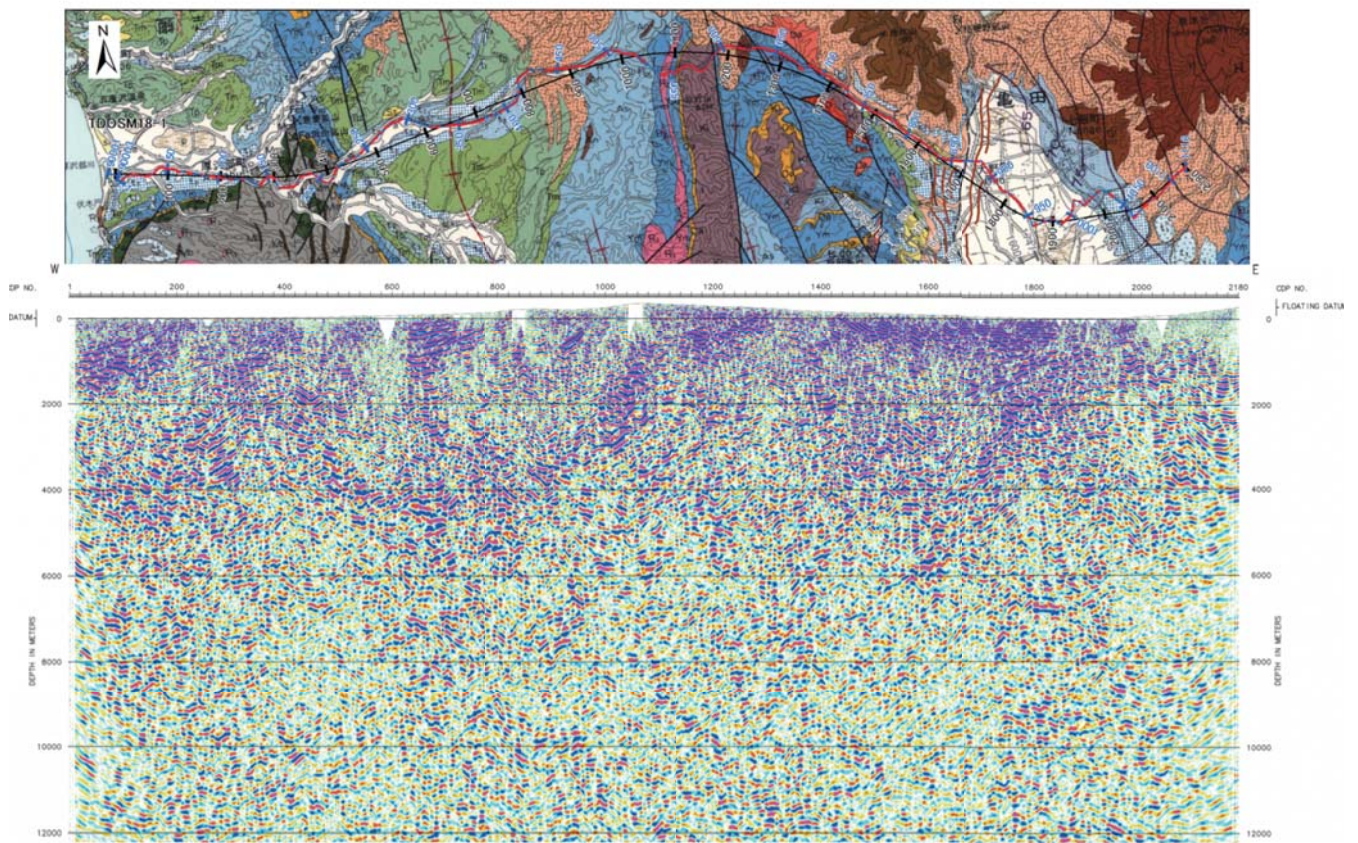
845 ch

10 m

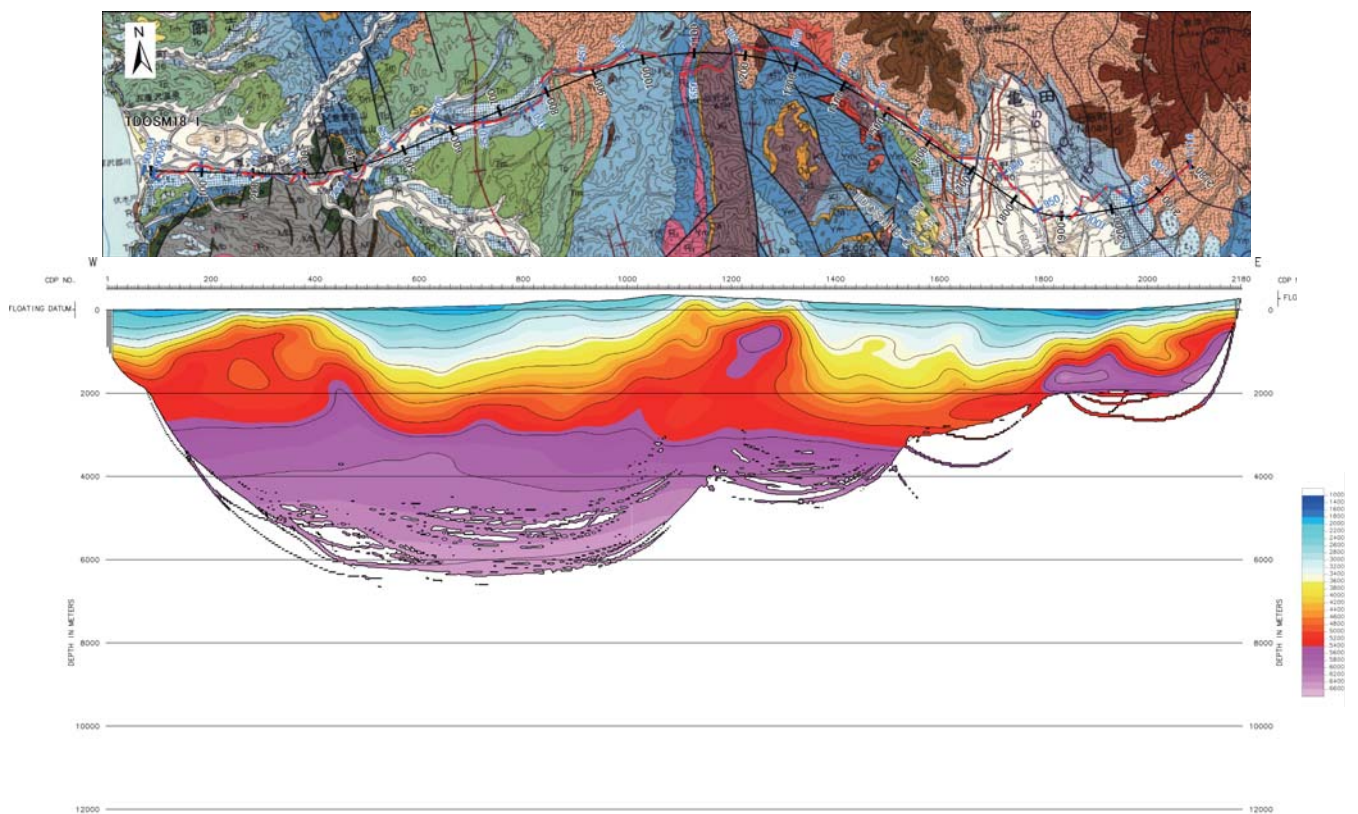
2 ms

4 秒

連続

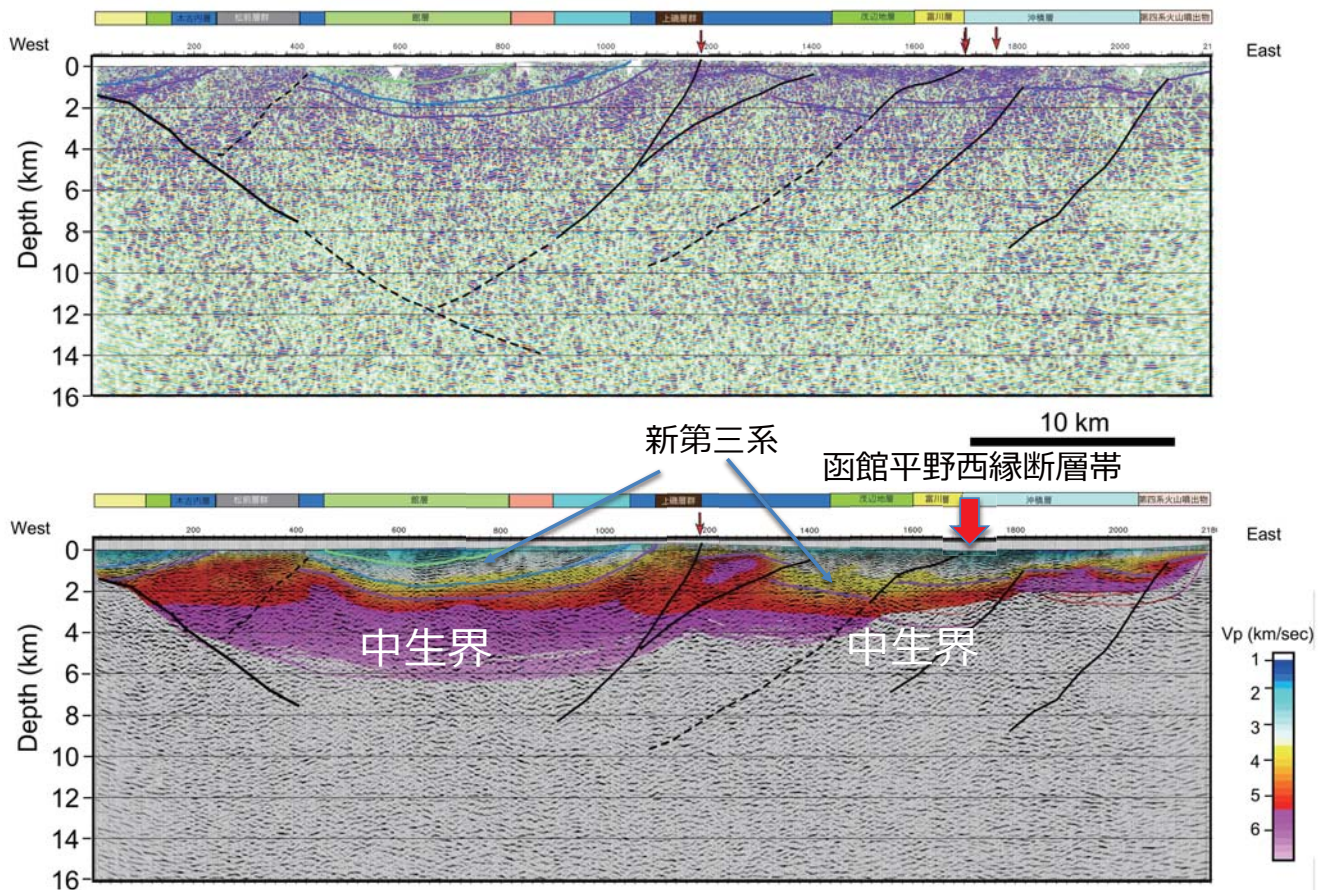


Migrated Depth Section(1:2)

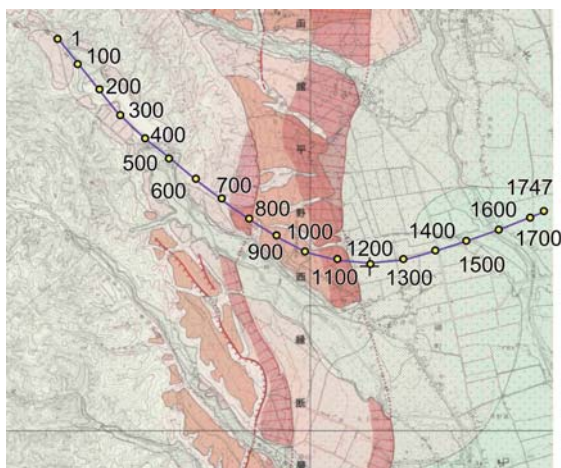
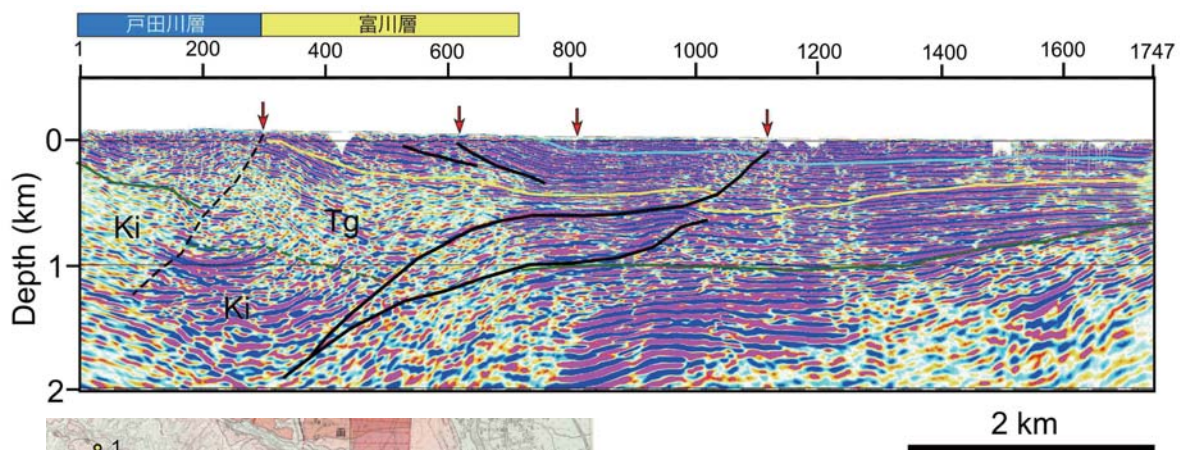


Traveltime Tomography Result(1:2)

反射法深度変換断面の地質学的解釈(暫定的)

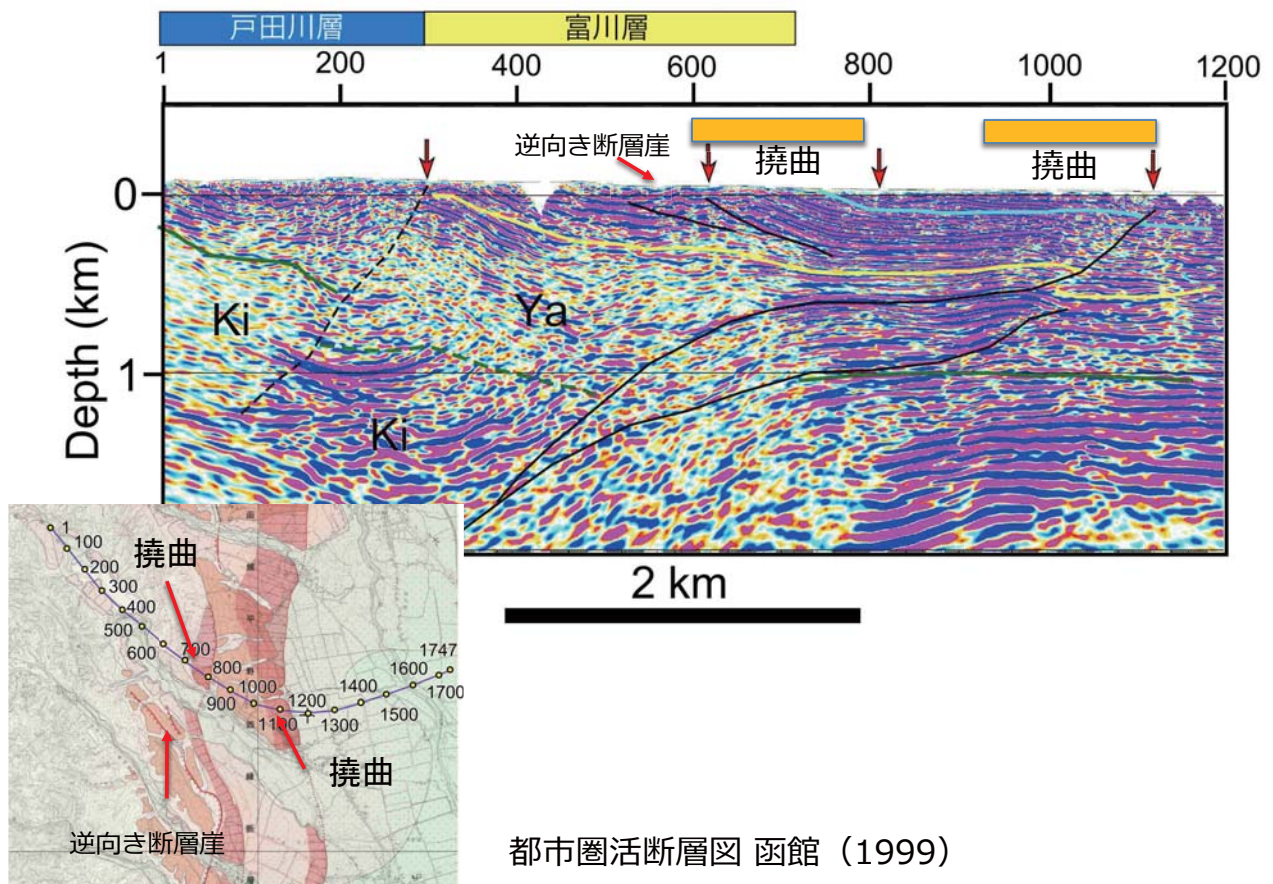


函館平野西縁断層帯を横切る高分解能反射法深度断面

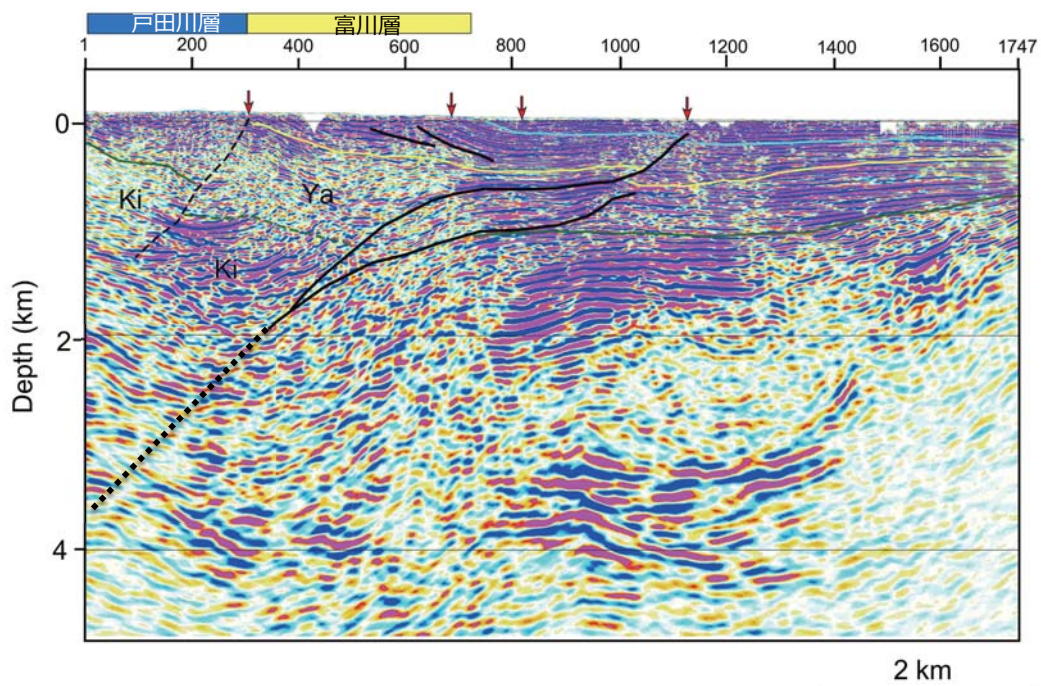


都市圏活断層図 函館 (1999)

函館平野西縁断層帯を横切る高分解能反射法深度断面

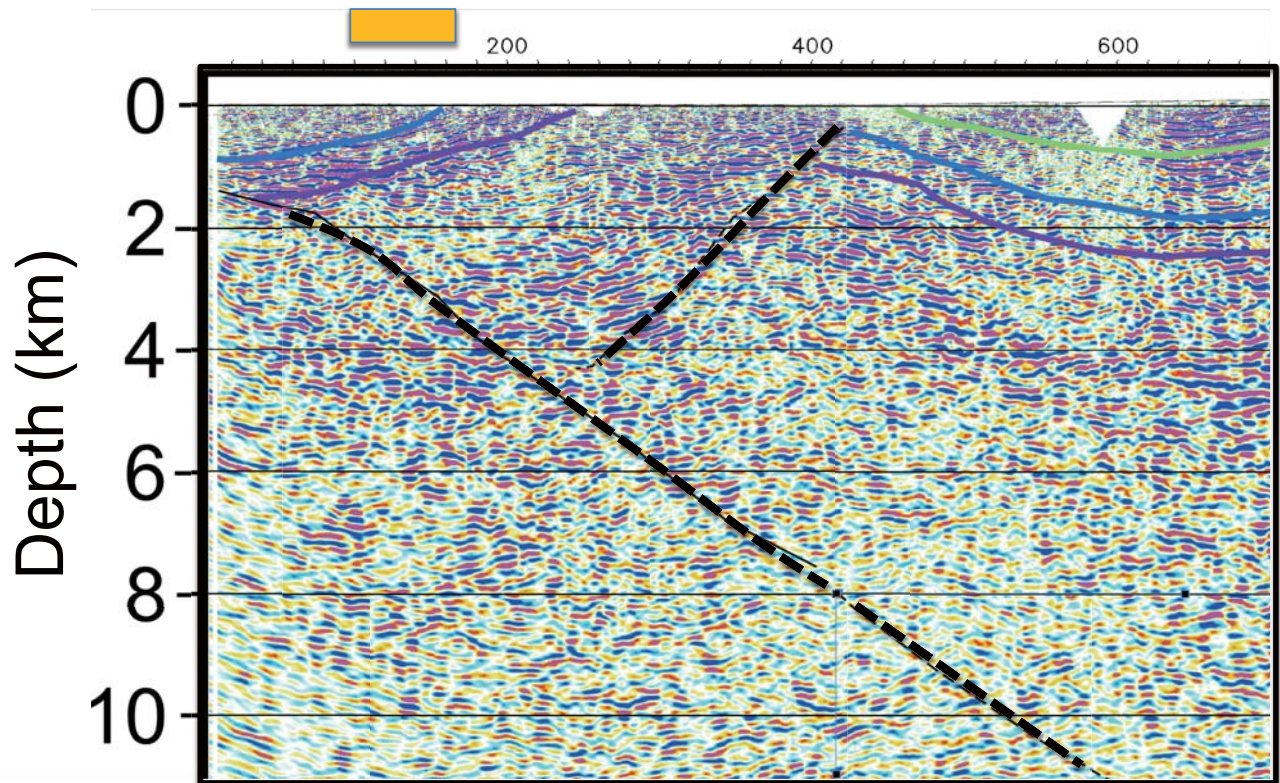


反函館平野西縁断層帯を横切る高分解能反射法深度断面



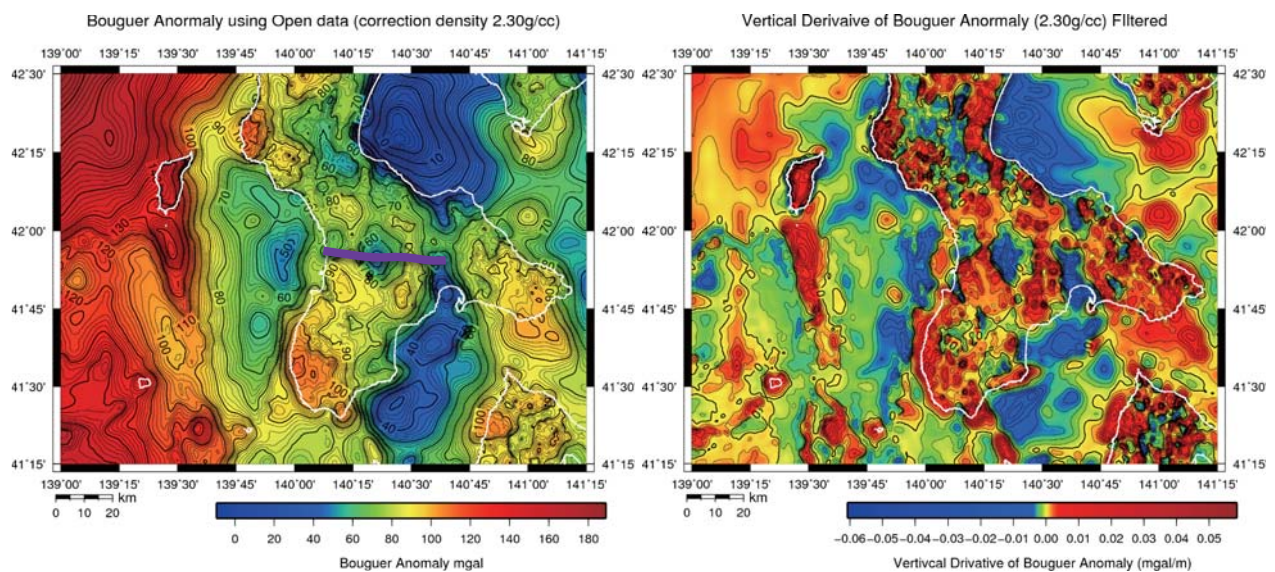
渡島半島西端部の構造

MIS5e(約12.5万年前) 旧汀線高度 31m 小池・町田編(2001)



11

ブーゲー重力図と鉛直一次微分図



ブーゲー異常図

ブーゲー異常に対する
鉛直一次微分図
移動平均適用

重力資料は、産総研 重力データCD-ROM (2013) による

まとめ

渡島半島横断：函館平野西縁断層の形状が明らかになった。

渡島半島西岸に伏在する断層を考慮する必要がある。